

令和 6 年度 第 3 回朝来市環境審議会 議事要旨

日時：令和 6 年 11 月 25 日（月）

14：00～16：35

場所：朝来市役所本庁舎 401・402 会議室

<出席委員>

石田会長、高品副会長、増原委員、岡田委員、岸野委員、衣川委員、天野委員、近藤委員、西垣委員、山田委員、村上彰委員、藤本委員、藤原委員、山畠委員、野田委員

<欠席委員>

村上玖委員

<事務局>

岡林市民生活部長、佐野市民課課長兼環境推進室室長、波多野市民課副課長兼環境推進室副室長、中屋市民課課長補佐兼環境推進室室長補佐、森本市民課環境推進室主査

<事務局補佐>

京住都市政策課課長、垣尾都市政策課課長補佐

<議事>

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - （1）環境基本計画の素案の確認
 - （2）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案の確認
- 4 その他
- 5 閉会

<協議内容>

(1) 環境基本計画の素案の確認

【事務局】素案について説明。

【委員】1点目は、各基本目標で設定されている目標指標及びその目標値についてだが、基本目標1、3及び5については、現状で目標値をすでに達成しているため、見直しが必要なのではないか。また、目標値の設定年度が2029年度となっているが、計画の目標年度である2034年度と整合が図る必要はないのか。

2点目は、各基本施策で設定されている評価指標の方向性についてだが、目指すべき方向性などの表現に見直した方が分かりやすいのではないか。

3点目は、基本目標1の基本施策4に基づく取組の「熱中症等の健康被害対策の推進」についてだが、公共施設にクールスポットを可能な範囲で設置していく旨の記載がある。改正気候変動適応法において、設置が義務化されたように思うため、確認をお願いしたい。

4点目は、資料編についてだが、本審議会の委員名簿を追加していただきたい。

【事務局】1点目については、目標指標及びその目標値が総合計画から引用しているものであるため、見直しを行えるか否かについては、再度確認を行いたいと思う。

2点目については、ご指摘のとおり修正させていただく。

3点目については、同法律の内容を確認させていただく。

4点目については、本審議会の委員名簿に加えて、計画の策定経過なども今後追加する予定である。

【副会長】1点目は、計画策定の背景・目的についてだが、文中に言葉の重複があるように感じることから、確認をお願いしたい。

2点目は、計画の位置づけについてだが、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に、地域新エネルギー・省エネルギービジョン及びバイオマス活用推進計画が統合されるとはどういうことになるのか。というのも、脱炭素に関する課題についてだが、市内で民間事業者が行っている木質バイオマス発電事業の継続を図るための支援が必要である旨の記載がある。朝来市としては、同事業に対して今後支援を行っていくという考えなのか。

3点目は、計画の推進体制についてだが、本審議会で取組の進捗状況の点検・評価を行っていく旨の記載がある。これは、こういったタイミングで行われることになるのか。

【事務局】1点目については、確認させていただく。

2点目については、その通りである。現在も燃料となる未利用材の搬出支援を行っており、今後も継続する予定である。

3点目については、毎年度行う予定である。

【委員】基本目標2の基本施策2に基づく取組の「住宅等への市産材の利用促進による林業・木材産業の活性化」についてだが、新生児への木製玩具の配布事業を実施する旨の記載がある。これは、現

在は実施していないが、今後実施していくという解釈でよいのか。現在は、新生児への紙おむつの無料配布が行われているが、高齢者も対象にできればより良いと思う。また、木製玩具は、高齢者の知育玩具としても活用できるように思う。

【事務局】新生児への木製玩具の配布事業については、すでに実施している状況である。また、高齢者への配布については、担当課と検討を行っていきたいと思う。

【委員】新生児への木製玩具の配布事業については、森林環境譲与税を財源とした木育の一環として開始したものであり、今後はこども園への木製遊具の設置や高齢者への配布等についても検討していけるのではないかと思う。

【委員】基本目標 2 の基本施策 2 に基づく取組の「森林の計画的な整備の推進、適正管理の担い手の確保」についてだが、県民緑税を活用した災害に強い森づくりの取組を実施する旨の記載がある。これに加えて、今後は森林環境譲与税を活用した森林整備の推進を図っていくことになることから、追記した方が良いのではないかと思う。また、取組の「公共施設への率先的な市産・県産材の利用促進」についてだが、市産・県産材を地域材と表記する場合もあることを参考までにお伝えしたい。

【委員】以前、檜を使用した建築物を訪問した際に、檜の香りを不快に感じている子どもを見かけたことがある。私たちのように、幼い頃から木と触れ合ってきた大人たちには良い香りでも、そうでない子どもたちには嫌な香りになることもある。そのため、新生児への木製玩具の配布事業を推進することで、木の香りと楽しい記憶を結び付けていくことが重要であると思う。また、木製玩具は可能な限り、木の香りを感じることができる仕上がりになっていただければと思う。

【委員】塗料等を一切使用していないため、木の香りを十分に感じることができる仕上がりとなっていると思う。

【委員】1 点目は、木製玩具についてだが、私の家庭で使用しているお風呂でも遊ぶことができるものや、木の折り紙等も商品としてはあることから、そういった新たな商品の製造や配布も検討いただければと思う。また、評価指標として、「木製玩具の新生児への配布件数」が設定され、増加の方向性を目指していくこととなっているが、出生数は年々減少していくことが予想されるため違和感がある。増加の方向性を目指していくのであれば、配布対象を拡大するなど、何らかの検討が必要ではないか。

2 点目は、評価指標として、「保育園・こども園における熱中症予防啓発チラシの配布枚数」が設定され、増加の方向性を目指していくこととなっているが、ただ配布件数の増加を目指していくだけでは、啓発効果がそれほど見込めないように感じる。

3 点目は、評価指標として、「小学校 5 年での自然学校の実施校数」及び「小学 3 年生を中心にした環境体験教育の実施校数」が設定され、現状維持の方向性を目指していくこととなっているが、対象学年の拡大等を検討し、増加の方向性を目指した方が良いのではないかと思う。

【事務局】木製玩具の配布対象の拡大や、配布商品の拡大については、担当課と検討を行っていきたいと思う。また、評価指標についても、再度検討を行いたいと思う。

【会長】評価指標が非常に多く設定されているが、見直しが必要だと思われるものをあるため、事務局の方で全体的に再度精査をお願いしたい。

【委員】山東町の桜並木は、観光客も訪れる美しい観光資源となっているが、近年はてんぐ巣病による被害が発生しているため、何らかの対策が必要であると思う。

【委員】評価指標について、増加、現状維持、減少といった目指していく方向性は設定されているが、計画の進行管理を今後行っていくにあたっては、やはり目標値を設定した方が良いのではないと思う。設定が可能な評価指標についてだけでも、再度検討をお願いしたい。

【事務局】評価指標について、目標値を設定することはなかなか難しいのが実情である。そのため、計画の進行管理にあたっては、評価指標の実績値の増加率や減少率等で毎年度評価を行っていきたいと考えている。

【会長】各基本目標で目標指標及びその目標値が1つずつ設定されているが、これは1つずつでないとか何か問題があるのか。評価指標について、目標値を設定することが難しいということであれば、目標指標を追加することはできないのか。

【事務局】事務局としては、各基本目標で目標指標及びその目標値を1つずつ設定する方針で進めたいと考えている。

【会長】承知した。他にご意見・ご質問等がないようであれば、計画で掲げる「望ましい環境像」の事務局案について、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】「望ましい環境像」の事務局案について説明。

【会長】何かご意見・ご質問等はあるか。

(意見なし)

【会長】特にないようであれば、事務局案である「人と自然が共生し 豊かな環境を守り活かすまち 朝来市」を採用したいと思う。続いて、計画の表紙のイラストについて、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】計画の表紙のイラストについて説明。

【会長】何かご意見・ご質問等はあるか。

【委員】コウノトリが飛翔しているイラストを追加していただきたい。

【事務局】コウノトリは、電気自動車に乗車する形で描かれてはいるが、田んぼの上を飛翔しているイラスト等に修正を行いたいと思う。

【会長】紫色の花のイラストが描かれるが、これは何の花になるのか。

【事務局】これは藤の花である。

【委員】竹田城跡の右側のイラストは、何を描いたものになるのか。立雲峡を描いたイラストなのか。朝来市の自然の良さが伝わるよう工夫していただきたい。

【事務局】山を描いたイラストになるが分かりづらいため、立雲峡等のイラストへの修正を検討したいと思う。

【委員】環境に関する様々なイラストが配置されているが、それらのつながりが表現できればより良いものとなるように思う。

【事務局】検討させていただく。

（２）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案の確認

【事務局】素案について説明。

【委員】１点目は、基本施策１に基づく取組の「住宅・建築物の脱炭素化の促進」についてだが、ZEH や ZEB の普及促進を図っていくにあたって、住宅等の新築や増改築の建築確認申請時に、工務店等に対して情報発信を行っていくことが有効であると考え。また、省エネリフォームのメリットとして、断熱性能の向上が人の健康維持等につながることを追記していただきたい。

２点目は、兵庫県の「太陽光発電施設等と地域環境の調和に関する条例」のコラムについてだが、朝来市では、一般的な地域とは異なり、事業区域の面積が条例改正前から 1,000m² 以上が届出の対象となることを追記していただきたい。

【事務局】１点目については、市内の建築確認申請の提出先が兵庫県となっているため、朝来市としてその機会を活用することはなかなか難しいが、工務店等に対する ZEH や ZEB の普及促進に向けた情報発信は推進していきたいと思う。また、省エネリフォームのメリットについてはご指摘のとおり追記を行いたいと思う。

２点目については、ご指摘のとおり追記を行いたいと思う。

【副会長】１点目は、気候変動による将来予測のイラストについてだが、より鮮明に見えるよう、修正をお願いしたい。

２点目は、省エネリフォームについてだが、朝来市でも活用できる補助金を設けているのか。

３点目は、CO₂ 排出量の将来推計結果についてだが、今後の人口減少等の影響を考慮した推計を

行っているという解釈でよいか。

【事務局】1点目については、修正させていただく。

2点目については、朝来市でも、省エネに特化したものではないが、住宅リフォームに活用できる補助金は設けており、来年度も継続予定である。

3点目については、その通りである。

【会長】アンケート調査結果が資料編にのみ掲載されているが、本編には必要ないのか。

【事務局】アンケート調査結果の掲載方法については、再度検討させていただく。

以上